

小金井市地域自立支援協議会 (障害者支援施設検討部会)

令和8年1月21日(水)

1



令和7年11月21日(金)

現地視察



2



文京総合福祉センター (H27. 4月開設)



鉄筋コンクリート造
地上4階 地下1階

建築面積 2821.99㎡
延べ床面積 8022.81㎡



1~3階 障害者支援施設 リアン文京
運営：社会福祉法人 武蔵野会

障害のある方々が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう各種障害福祉サービスを行います。

- ◆短期入所・日中短期入所【3階】短期入所ユニット営業
対象：知的障害者及び身体障害者等
内容：短期間の入所による生活支援
- ◆軽度障害者入浴【3階】
対象：軽度の障害や変形等のため公衆浴場の利用が困難な方
内容：定期的に浴室の提供
- ◆施設入所支援【2~3階】生活ユニット連・絆・結・和
対象：知的障害者及び身体障害者等
内容：居住施設において夜間や休日の生活支援
- ◆地域活動支援センター1型【2階】
対象：障害者（児）及び医療的ケア児
内容：創作活動・各種機能訓練・余暇支援・社会体験（医療的ケア児）・地域交流の促進及び福祉講座など
- ◆生活介護【1~2階】
対象：知的障害者及び身体障害者
内容：日常生活の身体介助・リソースや機能訓練、創作活動など
- ◆就労継続支援【A型・B型】【1階】
対象：一般企業等への雇用が困難な障害者
内容：働く場及び生産活動の機会の提供など

電話：03-5940-2822
ホームページ：<http://www.team-lien.com>

1階 障害者基幹相談支援センター
運営委託：厚生あせび会・文京機の会共同事業体

知的障害、身体障害、精神障害、難病などの障害のある方に、社会福祉士等の専門相談員が相談支援や障害福祉サービスの利用支援等の総合相談を行い、地域における相談支援活動の拠点としての役割を担います。

利用時間：午前9時から午後6時まで
（土曜日は午後5時まで）
休館日：日曜日・祝日・年末年始
電話：03-5940-2903
FAX：03-5940-2904



3階 子育てひろば江戸川橋
運営委託：社会福祉法人 武蔵野会

保護者と就学前の乳幼児が、一緒に安心して遊びながら、他の親子との情報交換や交流が図れる場です。専門指導員が常時勤務していますので、「子育て」についてお気軽にご相談ください。

利用時間：午前10時から午後4時まで
夏期（7月1日～8月31日）は午後5時まで
休館日：祝日・年末年始
電話：03-5940-2909

4階 文京福祉センター江戸川橋（地域福祉振興施設）
指定管理者：社会福祉法人 武蔵野会

地域福祉の振興を目的に、視聴覚室、地域活動室A・B・C、調理教室、多目的室の貸出しを行います。また、老人福祉センターの学習室、トレーニングルームは、夜間の貸出しを行います。

利用時間：午前9時から午後9時30分まで
休館日：年末年始
電話：03-5940-2901
ホームページ：<http://care-net.biz/13/lien/>

4階 文京福祉センター江戸川橋（老人福祉センター）
指定管理者：社会福祉法人 武蔵野会

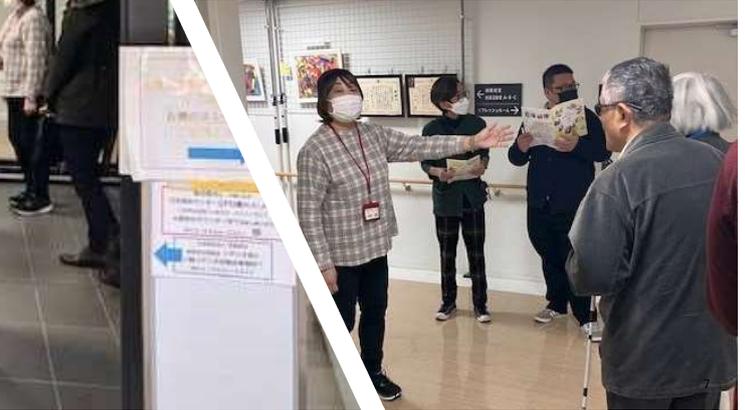
区内に住所を有する満60歳以上の方を対象に、介護予防、健康相談、入浴サービス等の各事業を行います。また、高齢者の交流の場として、学習室、トレーニングルームの貸出しを行います。

利用時間：午前9時から午後5時まで
休館日：年末年始
電話：03-5940-2901
ホームページ：<http://care-net.biz/13/lien/>

・HPより抜粋

障害者支援施設
入口

障害者支援施設 リアソン



4階 文京福祉センター江戸川橋 (老人福祉センター)

指定管理者：社会福祉法人 武蔵野会

区内に住所を有する満60歳以上の方を対象に、介護予防、健康相談、入浴サービス等の各事業を行います。

また、高齢者の交流の場として、学習室、トレーニングルームの貸出しを行います。

利用時間：午前9時から午後5時まで
休館日：年末年始



電話：03-5940-2901

ホームページ：<http://care-net.biz/13/lien/>





4階 文京福祉センター江戸川橋 (地域福祉振興施設)

指定管理者：社会福祉法人 武蔵野会

地域福祉の振興を目的に、視聴覚室、地域活動室A・B・C、料理教室、多目的室の貸出しを行います。

また、老人福祉センターの学習室、トレーニングルームは、夜間の貸出しを行います。

利用時間：午前9時から午後9時30分まで

休館日：年末年始



電話：03-5940-2901



お食事のよろず相談

毎月第3火曜 14:00~15:00

4/15	5/20	6/17	7/15	8/19	9/16	10/21	11/18	12/16	1/20	2/17	3/17
------	------	------	------	------	------	-------	-------	-------	------	------	------

ご相談 無料

予約枠が空いていれば当日参加も大歓迎です！お気軽にどうぞ！

【ご予約について】
1日2名まで、お1人30分までの事前予約制(先着順)となります。毎月について、前月の1日から申し込み受け付けを開始します。

① 14:00~14:30
② 14:30~15:00
お問合せご予約はこちら →

日々の献立のこと、栄養バランスのこと、体調や食事管理のこと、などなど、食事のお悩みを管理栄養士が親切丁寧に聞きしアドバイスします

【対象】どなたでも

文京福祉センター江戸川橋
文京区小日向2-16-15
03-5940-2901

3階

子育てひろば江戸川橋

運営委託：社会福祉法人 武蔵野会

保護者と就学前の乳幼児が、一緒に安心して遊びながら、他の親子との情報交換や交流が図れる場です。

専門指導員が常時勤務していますので、「子育て」についてお気軽にご相談ください。

利用時間：午前10時から午後4時まで

夏期(7月1日～8月31日)は午後5時まで

休館日：祝日・年末年始

電話：03-5940-2909



11



12



1~3階

障害者支援施設 リアン文京

運営：社会福祉法人 武蔵野会

障害のある方々が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう各種障害福祉サービスを行います。

◆短期入所・日中短期入所【3階】 短期入所ユニット^{きんご}気楽

対象：知的障害者及び身体障害者等

内容：短期間の入所による生活支援

◆軽度障害者入浴【3階】

対象：軽度の障害や変形等のため公衆浴場の利用が困難な方

内容：定期的に浴室の提供

◆施設入所支援【2~3階】 生活ユニット^{れん きすな ゆい なごみ}連・絆・結・和

対象：知的障害者及び身体障害者等

内容：居住施設において夜間や休日の生活支援

◆地域活動支援センターI型【2階】

対象：障害者(児)及び医療的ケア児

内容：創作活動・各種機能訓練・余暇支援・社会体験(医療的ケア児)・地域交流の促進及び福祉講座など

◆生活介護【1~2階】

対象：知的障害者及び身体障害者

内容：日常生活の身体介助サービスや機能訓練、創作活動など

◆就労継続支援【A型・B型】【1階】

対象：一般企業等への雇用が困難な障害者

内容：働く場及び生産活動の機会の提供など



電話：03-5940-2822

ホームページ：<http://www.team-lien.com>



短期入所



遺構保全



日向一・二丁目南遺跡
神田上水旧白

「タ」建設工事に伴い、平成二十三年から二十四年にか
上水関連遺構が検出されました。この地は、田原田小学校
を代表する上水道として知られる神田上水は、開口は
ある地域に、当時の江戸市のおよそ二、三階におよぶ高層の遺構
へるこのあたりの白濁（開渠の遺構）は、神田川の北岸、小日向台地の南麓
死つた新田一筋の白濁跡は、木製の土台を伴う間道石（安山岩、伊豆
）部を現地で展示しています。発見された北側の護岸は、土台は「一三
）年頃に、水質保全のため、白濁に石蓋をかぶせ改造したことが「東
）の石積み護岸の上に、水路側に勾配を持つ、緩急岩製の切石が敷せら
）土蓋（扇山産）で、文献史料でみる元石（扇州石）とも一致すること
）ことを示唆する石であることが分かります。

小石川（後楽園）では、東京市内への上水の供給が終了した明治三十四
水の水源として使用していました。東京市議会の記録によると、神
大正六（一九一七）年に払い下げられ、その後、埋め戻されました。本
の対岸は確認されていませんが、先述の文献史料から、石蓋の幅は
説図（図6）で示すように、暗渠化された水路は、両石積み護岸の
証測されます。現在の音羽通りから牛天神下に至るまでの長さ八百
）もおよぶ工事は、巨額の費用を要する大がかりな改造であったこと
）「神田上水白濁遺」とあります。発掘調査時には、石蓋は取り除かれ
）のまま復原し展示しています。本展示は、多くの情報を有して



施設名	清瀬育成園 ひだまりの里きよせ
事業内容	施設入所支援 60名 / 生活介護 60名 / 短期入所 10名 / 就労継続支援B型 12名 / 相談支援事業（一般相談支援、特定相談支援〔成人・障害児〕、自立生活援助）
敷地面積	6239.73 m ²
延べ床面積	6131.38 m ²
構造・規模	木造3階建



食堂



地域交流スペース



短期入所



地域とのつながり



施設誘導のヒント

ハード面

- 従前が中学校跡地かつ地域公益施設があったことにより、本施設建設に際して否定的な声は少なかった。⇒ 従前機能の担保により地域から受け容れられた。
- 地域福祉の振興を目的に、視聴覚室、地域活動室等の貸出しを行っている。⇒ 従前より機能面の充実を図った。

ソフト面

- 施設利用者が主体となり町内会と連携してボランティア活動を行っている。（お祭りの運営等）⇒ 社会資源を利用しつつ、地域の繋がりを深度化することにより地域移行の主旨を部分的に達成している。
- 地域との関係も非常に良好。

23

令和7年7月30日
施設検討部会資料より

地域生活支援型入所施設



○東京都障害者計画では・・・

都内入所施設の未設置地域においては「地域生活への移行や在宅障害者の地域生活を積極的に支援する機能を強化した「地域生活支援型入所施設」を整備していく必要がある。

※既存施設については地域生活支援型入所施設への転換を進める。

24

必要な機能の選定

- 必要とされる障害福祉サービス
- 地域貢献（ハード面、ソフト面を兼ねる）
- 地域との繋がり、地域に受け入れられる施設であるため



**つくって終わりではなく、
つくったあと、そこに住む人たちと地域の繋がりを考える**

25



次回視察日
令和8年1月26日（月）
10:00~12:30

施設概要



- 事業内容一覧
1. 施設入所支援
 2. 生活介護事業
 3. 自立訓練(生活訓練)事業
 4. 短期入所事業
 5. 就労継続支援B型
 6. 相談支援事業



26



ひきつづき検討をすすめてまいります。